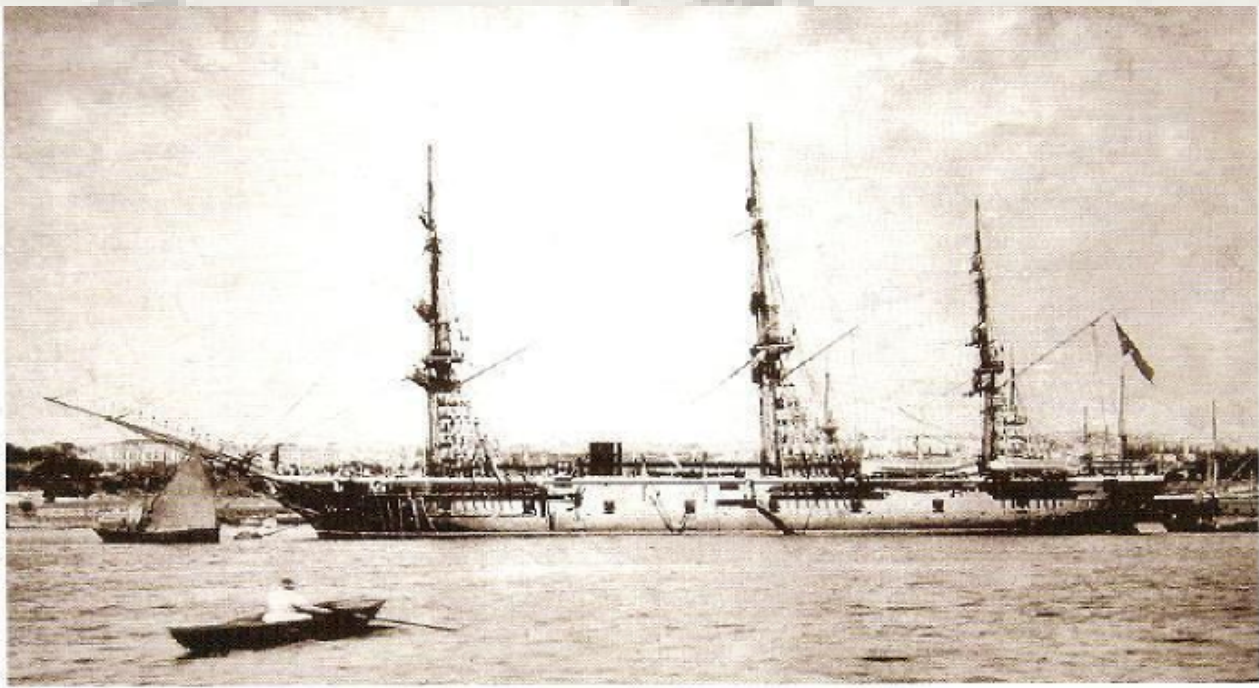


世界一の親日国と言われるトルコ

-----それは明治23年9月16日 和歌山県大島村檜野崎-----
いつもは静かな海も、台風で大荒れだった夜のこと…。
灯台守は何も起こらないことを願いながら、いつものように日誌を書いていた。そこへ突然、今にも倒れそうな血だらけの外国人が助けを求め転がりこんできたのです！いきなりの出来事に驚きながらも、前夜末の暴風雨から付近で難破したことを察し、真夜中の町に協力を要請した。言葉が通じない彼に万国信号書を出し片言ながらもどこから来たのか？と問いかけると、彼は震える指でトルコの位置を指差した。難破したのはトルコの軍艦エルトゥールル号であった。
要請を受け駆けつけた町民達が目にしたのは、海岸に溢れる多くの遭難者の姿…。見たこともない外国人に戸惑いながらも、町民総出の救出活動を行い、69名の命を救うことができた。町人たちは食糧もままならない中で自分達の蓄えである食糧を遭難者に与え、あり合わせの着物を着せ懸命に介護にあたった。総勢587名の犠牲者を出したこの大きな事件は、翌朝、檜野の区長から大島村長に伝えられ、村長は神戸港の外国領事館に援助を求めて生存者を神戸の病院に搬送させるよう手配するとともに、県を通じて日本政府に通報した。知らせを聞いた明治天皇は、政府として可能な限りの援助を行うよう指示した。各新聞は衝撃的なニュースとして伝え、多くの義捐金・弔慰金が寄せられた。亡くなった人達は丁寧に葬られ、そして翌年の1891年1月2日にオスマン帝国の首都・イスタンブールに無事生存者全員送り届けられたのである。この事件は後にエルトゥールル号事件と呼ばれ、帰国したトルコ人によってトルコ全土に伝えられた。この事件をきっかけに日本とトルコ、和歌山県とトルコの友好関係が始まったのです。

エルトゥールル号遭難事件



※当時のエルトゥールル号



株式会社KCR（ケイシーアール）

TEL 0739-33-7683 FAX 0739-33-7501

Book & Turkish Bazaar『タイヨウのカフェ』

〒649-3503 和歌山県東牟婁郡串本町串本2079-2

TSUTAYA WAY 串本店内

トルコ雑貨とハンバーグ『紬カフェ』

〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町2927-1704

のんびれっじ白浜1F

本社 〒649-0015 和歌山県田辺市たきない町8番20号

資本金 500万円

代表取締役 本田 景士

設立 2013年7月

事業内容 トルコ商品の輸入・開発・販売、トルコへの日本商品の輸出・市場調査・販売及び販売代理、タイヨウのカフェ・紬カフェの経営

沿革

2013年7月 株式会社KCRを設立、トルコ関連事業の取り扱いを開始

2014年8月 白浜ケバブ移動販売開始

2014年9月 和歌山県白浜町に紬カフェをオープン

2016年2月 素材にこだわり抜いた和歌山の中華シリーズ、和華山贅沢三昧をリリース

2016年5月 和歌山県全域での取引先50社達成

2018年3月 エルトゥールル号の絵本『タイヨウのくにとツキのふね』制作・出版

2018年7月 クラウドファンディングにて資金調達を行いトルコ後翻訳の絵本を制作

2019年1月 トルコへの輸出、アンテナショップ設立や日本商品の販売事業開始

2019年3月 和歌山県串本町にBook & Turkish Bazaar『タイヨウのカフェ』オープン

主要取引先 カラカミ観光㈱ 大和リゾート㈱（有）福亀堂 （五十音順）

取引銀行 住信SBIネット銀行 法人第一支店、紀陽銀行田辺駅前支店

従業員数 15名（正社員5名：アルバイト10名）